

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 29 日 (2006.6.29)

【公開番号】特開 2000-321487 (P2000-321487A)

【公開日】平成 12 年 11 月 24 日 (2000.11.24)

【出願番号】特願 平 11-135595

【国際特許分類】

G 0 2 B 7/28 (2006.01)

G 0 3 B 17/20 (2006.01)

G 0 3 B 13/36 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 7/11 N

G 0 3 B 17/20

G 0 3 B 3/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 12 日 (2006.5.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 1】

図 3 において、1 0 0 はカメラ本体に内蔵されたマイクロコンピュータの中央処理装置（以下、CPU という）であり、この CPU 1 0 0 には、測光回路 1 0 2，自動焦点検出回路 1 0 3，信号入力回路 1 0 4，LCD 駆動回路 1 0 5，LED 駆動回路 1 0 6，シャッタ制御回路 1 0 8，モータ制御回路 1 0 9 が接続されている。また、焦点調節回路 1 1 0 と絞リ駆動回路 3 2 は前述したように撮影レンズ 3 0 内に配置されており、図 1 で示したマウント接点 3 7 を介して信号の伝達を行う。1 0 0 a は前記 CPU 1 0 0 に付随した EEPROM であり、各種調整データを記憶する記憶機能を有している。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 3】

次のステップ # 1 0 9 においては、スイッチ SW 1 が ON されているか否かを判定し、OFF であればステップ # 1 0 1 へ戻るが、ON されていればステップ # 1 1 0 へ進み、CPU 1 0 0 はカメラに装着されたレンズとの間で相互通信を行う。これにより、測光や AF を実行するのに必要なレンズ情報、例えば、撮影レンズの開放 F NO.，ベストピント位置等の情報がカメラのメモリに転送される。又ここで、3 3 組のラインセンサ CCD - 0，CCD - 1 ~ CCD - 3 2 は被写界光の蓄積動作を開始し、現時点での像ズレ量（デフォーカス量）を測定する。さらに確定された焦点検出領域に基づいて測光演算を行う。